



のぞみふくいニュースレター



第36号 (H23年秋号)



(財) がんの子供を守る会 福井支部 発行

TEL・FAX 0776-22-5132

Email nozomi-f@mx3.fctv.ne.jp

本部 URL <http://www.ccaj-found.or.jp/>

支部 URL <http://www3.fctv.ne.jp/~nozomi-f/>

残暑厳しかった9月。30度以上を超える日が9月の下旬まで。。暑さ寒さも彼岸までといいますが、お彼岸のシルバーウィークでやっと秋の気配が。。10月に入ったら、なぜか急に寒さが。。被災地の冬支度が遅れているとか。今年は、雪が多そうですね。皆様、体調をおくずしかもしれません。インフルエンザもはやってきているとか。お気をつけください。私は、秋が一番好きです。秋生まれということもありますが、自分にあつての気がします。秋は、文化的な行事・体育的な行事・おいしいものがたくさんあります。そして、冬支度。今年はあと2ヶ月を残すのみとなりました。なんと月日の過ぎるのは早いのでしょうか。色々思いにふけったり、亡くなった人たちのことを考えたり、秋の夜長、少しさびしくなったりもします。秋なので、余計に深く感じるのかもしれない。。(文責：代表幹事)

(財) がんの子どもを守る会の理事長交代のお知らせ

垣水孝一理事長が退任し、新しく、山下公輔氏が理事長に就任いたしましたので、お知らせいたします。山下理事長の下、公益法人化に向け職員一同、小児がん対策等に誠心誠意取り組んでいく所存です。今後ともなにとぞご支援、ご協力のほどお願いいたします。

のぞみ北陸小児がん交流会 in 金沢

9月25日(日)石川県地場産業振興センター第7研修室にて、富山支部と福井支部の共催で行いました。もともと、石川県にも支部が出来たらいいなという思いから始めた、金沢での交流会も3年目になります。主に小児がんの外科的治療を受けるために金沢に来られている方が、富山から、福井から、たくさんいらっしゃいます。なので、石川には常に目を向けていかなければならないと思っています。

今回は、長年小児がんに向き合ってきた金沢大学医学部の小泉晶一教授から、ご経験からのお話をお聞きし、その後、経験者の方、ご家族の方、子どもを亡くしたご家族の方、ボランティア支援者の方に分かれて交流会を行いました。今回の交流会には、金沢医科大学の犀川先生を始め、院内学級の先生、治療のために金沢に来た患者家族のための宿泊施設(ひまわりの家)を運営しているボランティアスタッフの方、金沢大学、富山大学、福井医療短大の学生さんも来られて、活発に交流されました。今回、金沢の地元の経験者も家族の方も来られて、石川で守る会の運営を手伝ってくださるという方も現れ、実のあるよい交流会になったと思います。また今後も続けていこうと思います。

中部小児がんトータルケア研究会

10月1日(土)愛知県名古屋市中区栄のガスホールにて行われました。AKB48の名古屋版SKE48のサカエの繁華街の中心にある会場でした。中部地区(北陸、信越、東海地方)の医療者、支援者、当事者がテーマごとに演題を出し合って、発表し、質疑応答、討議して、患者家族のために、小児がんをトータルに考えていく研究会です。今年は、私も一テーマの座長という大役を勤めさせていただきました。毎年思いますが、お医者さんも看護師さんも、CLS(チャイルドライフスペシャリスト)も保育士さんも、学校の先生も支援者もそして家族もみんな患者さんのために少しでも治療環境がよくなるようにどうすればいいかを考えています。今後も小児がんの治療環境は、よくなっていくと思います。北陸は、今、CLSなどがついている病院がありません。今後は、全国どの小児病棟にもCLSなどがいるように早くなってほしいと希望します。